**矢吹原土地改良区組合員の現状把握と組織改善のためのアンケート調査（お願い）**

令和4年3月吉日

平素より土地改良事業にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

さて、令和３年度福島県農林水産部の発表によりますと、本県の基幹的農業従事者（個人経営体）の平均年齢は69.2歳となっており、年齢別の構成比でみると65歳以上の占める割合は74.8％となっております。農家の高齢化が進み担い手不足の現状を考えますと、今後耕作放棄地の増加などによる地域農業の衰退が懸念されます。そこで、当土地改良区組合員の現状や5年後10年後といった近い将来の農業経営について意向を把握するため、アンケート調査を実施することといたしました。

お忙しいところ、お手数をおかけしますが、アンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

**〇アンケート調査内容（回答締切日：2022年4月30日）**

回答方法は各設問の該当する項目□にチェック、または記述をお願いします。

【年齢、職業、住まいについて】

問1　　あなたの年齢についてご回答ください。

　　　　□満30歳未満　□満30歳～39歳　□満40歳～49歳　□満50歳～59歳

□満60歳～69歳　□満70歳～79歳　□満80歳以上

問2　　あなたの職業についてご回答ください。

　　　　□自営業（専業農家）　□自営業（兼業農家）　□会社員　□公務員　□団体職員

□その他（　　　　　）

問3　　あなたが住んでいる市町村についてご回答ください。

　　　　□白河市　□泉崎村　□矢吹町　□鏡石町　□天栄村　□須賀川市

　　□その他（　　　　　）

【田んぼについて】

問4　　あなたの田んぼの現状についてご回答ください。（複数回答可）

　　　　　□自分で耕作している

　　　　　□他人に耕作してもらっている

　　　　　□耕作しておらず放棄している

　　　　　□田んぼの現状が分からない

　　　　　□その他（　　　　　　　　　　）

問5　　現在、または近い将来、田んぼの相続者、または耕作の後継者はいますか。

　　　　　□いない

　　　　　□いる　⇒　（□親族、□他人）

問6　　将来田んぼをどのようにしたいと考えていますか。またその時期はいつ頃ですか。

　　　　　□規模を拡大したい（□3年以内、□5年以内、□10年以内、□未定）

　　　　　□規模を縮小したい（□3年以内、□5年以内、□10年以内、□未定）

　　　　　□離農したい（□3年以内、□5年以内、□10年以内、□未定）

　　　　　□現状維持

　　　　　□分からない

　　　　　□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

【土地改良区について】

問7　　土地改良区の仕事についてご存知ですか。

　　　　　□知らない

　　　　　□知っている（知っているものを選んでください。※複数回答可）

　　　　　　□ほ場整備（区画整理等）かんがい排水等の土地改良事業の実施

　　　　　　□幹線用水路（パイプライン）や頭首工等の基幹施設の維持管理

　　　　　　□組合員資格に係る事務や賦課金の徴収等の事務局運営

　　　　　　□国、県、市町村等の土地改良事業に係る関係機関との協議

　　　　　　□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

問8　　パイプライン等の国営基幹施設の老朽化による突発事故、地震やゲリラ豪雨による自然災害により、羽鳥ダムから取水するための修繕費用が不足しています。矢吹原土地改良区の組合員がこのまま田んぼの耕作を続けるためには、今後も賦課金の値上げが必要となることが予想されます。このことについてあなたの考えに近いものをご回答ください。

　　　　□取水するためには羽鳥ダム等の施設の修繕は必須なので、賦課金の値上げもやむを得ない。

□家計を圧迫してまで田んぼを続けたくないので、決済金を払って土地改良区を脱退したい。

□修繕ができなければ、羽鳥ダムからの取水を止め、土地改良区の解散も検討してほしい。

□分からない

　　　　□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

問9　　最後にあなたが思うことを自由にご記入ください。

|  |
| --- |
|  |

　※アンケートの記入については以上です。ご記入頂いたアンケート用紙につきましては、お手数ですが同封しました改良区宛の返信用封筒にて、ご提出いただきますようお願いします。